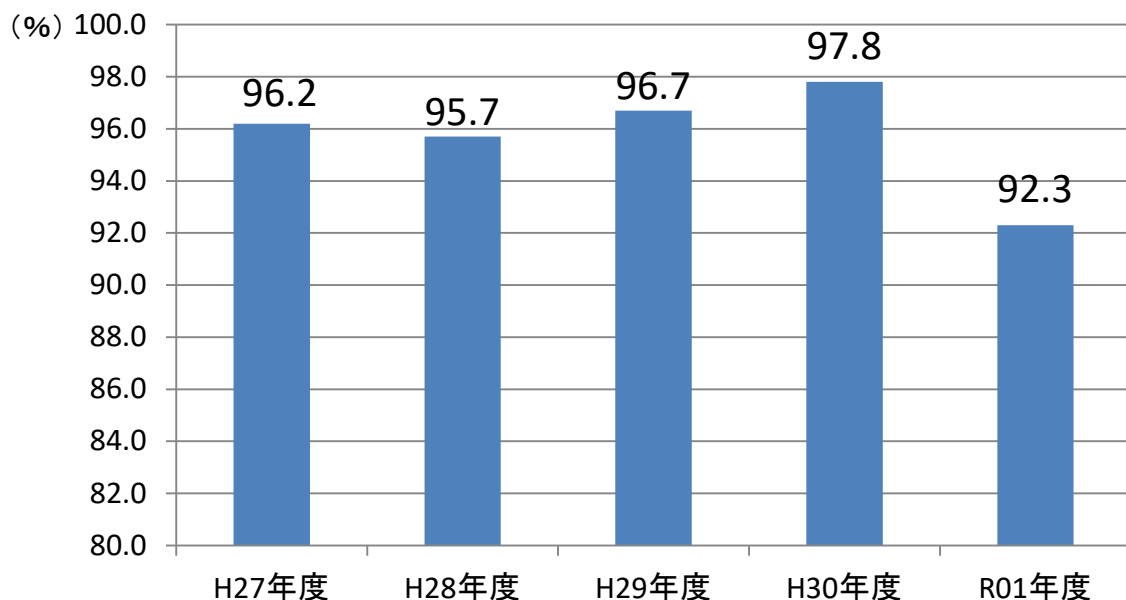


放射線科医がCT・MRIの読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合

■ 解説: process指標

高度な医療の提供には、画像診断をより早くより正確に行うことが必要です。放射線科医によるCT・MRIの画像診断結果が翌営業日までに提出された割合を表す指標です。またCT・MRIが放射線科医の監督の下に適切に行われていることを表す指標でもあります。そのため実施率が高いことが望まれます。画像診断管理加算2(80%以上が算定要件)の施設基準を取得していなければ、数値は低くなります。

■ 当院の実績



《自己点検評価》

CT・MRIは、診断・治療・経過観察等あらゆる診療行為において重要な役割を担っており、当院での実施件数も年々増加しています。

フィルムレス画像配信システムを利用し、効率的・効果的な運営を行っています。

引き続き、放射線科医による読影を翌営業日までに終える率が100%に近づくよう努めます。

■ 定義

CT・MRIについて、翌営業日までに放射線科医による読影レポートが作成された割合です。「放射線科医」とは医科診療報酬点数表の画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。

■ 算式

分子: 翌営業日までに放射線科医が読影したレポート数

分母: CT・MRI 検査実施件数

■ 令和元年度国立大学病院報告書: 中央値93.30